

取材スタッフ一同 担当役員賞（報道情報局） ろう学校の手話教育のあり方をめぐる一連の報道

2025年1月6日（月）

ろう学校の手話教育のあり方をめぐる一連の報道やドキュメンタリー番組、イベントなどの取り組みに対し、報道のプレゼンス向上に寄与した功績を称え、取材スタッフ一同に担当役員賞が送られました。一連の報道活動は札幌聾学校の児童2人が「日本手話」で授業を受けられず、教育を受ける権利を侵害されたと訴えた裁判がきっかけでした。なかでも「テレメンタリー2024 世界一きれいな言葉」はリモコンを使わず字幕が表示される「オープンキャプション」や日本手話の通訳を付けるなど新たな取り組みで番組を制作しました。また番組で取り上げたろう者を招きトークイベントを開催するなど、手話への理解を広げる活動も行いました。こうした取り組みは民放連特別表彰部門「放送と公共性」の優秀賞受賞につながっています。

社会情報部の喜多和也さんは「日々の報道やテレメンタリーの制作はもちろんのこと、onちゃんテラスや感謝祭でのイベントなどを通してスタッフ全員が手話の魅力を伝えようと取り組んできました。関係各所のご支援に感謝しています。今年は、耳の聞こえないアスリートのオリンピック＝デフリンピックが100周年の記念の年で、かつ日本で初めて開催されます。多くの人が手話を知り、触れる機会を作っていければ」と話しています。



左から映像コンテンツ部 道下学さん、社会情報部 喜多和也さん、報道部 広瀬久美子さん